

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版55号



平成 26 年 1 月 6 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会土木委員会、予算特別委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ4度出場)。

●2014年、今年もご指導願います。

日頃から大変お世話になっております。公職選挙法第147条の2の規定により、新年の挨拶状や挨拶ができない旨、ご了承いただければと思います。

さて、お陰さまで県議として8回目の新春を迎えることができました。昨年は、県議会農林水産委員会に所属し、全国第2位の出荷額を誇る茨城の農業について、耕作放棄地の解消から風評被害対策、レンコンなどの特産品の販路拡大、海外輸出、グローバルギャップへの取り組みなど多岐にわたる議論を交わしました。

また、10月議会では予算特別委員会にて、茨城の魅力向上という観点から、県の情報発信力の強化というテーマを中心に県政全般について、さらに12月議会では、本会議一般質問にて、霞ヶ浦や筑波山周辺の活性化策、新治地区の断水対策、乙戸川の氾濫防止に向けた河川改修、水郷体育館の改修など地元土浦の課題を中心に上げ、知事はじめ各担当部長から前向きな答弁を引き出すことができました。

このような青山の議会活動をご評価頂き、月刊誌「世論時報」や廣済堂出版「イケメン政治家名鑑」の取材を受け、誌面に大きく掲載して頂きました。

議会外においては、とあるご縁から昨年3月以来、大学受験の予備校にて高校三年生に世界史を教えております。教えていて一番に感じたのが「若いってすごいな」ということです。どんどん知識を吸収して、目に見えて成長していく子供たちに驚くばかりでした。正直、教えることは大変でしたが、それ以上に得るものがありました。そして、彼ら世代が将来に希望を持てるような社会、夢の

ある日本をつくっていききたいと率直に思いました。

さらに、実際に子どもたちに教えることで今の日本の教育制度の問題点や改善すべきところを肌で感じることができました。人材の育成が国の根幹であります。この経験を教育行政はじめとする政策立案へと活かしていきます。

そして、改めて歴史を勉強する中で、クロムウェル、ロベスピエールなど古今東西の歴史が示すとおり、一部の改革者は、ひとたび権力を握ると自分が偉大だと勘違いしてしまうのか。同じような過ちを繰り返しております。こういった過去の歴史からの教訓をしっかり学び、これからの政治活動に反映させていきたいと思っております。

さて、先日、私たち会派が県民の皆様や県内の各団体などから頂いた貴重なご意見をもとに、知事に対して、人口減少社会に対応した超少子高齢化への社会保障の充実や復興の推進、県民が安全・安心・快適に暮らせる地域づくりなど、福祉・教育・復興に重点を置いた約900項目の茨城県政要望を行いました。

特に早急な取り組み課題として、県民の皆様からの声が多かったマル福制度対象年齢の拡大、確実な少人数学級の拡大、自然災害に対する支援や防災対策、児童生徒の通学路の安全対策、振り込め詐欺など知的犯罪への対応などを伝えました。

地方議会とは異なり、国政のような議員内閣制とは異なり二元代表制であります。したがって、国政のような与野党といったような、政党政治ではありません。これからも日々、自分自身をしっかり磨き、皆さま方から信頼を得られるよう、これからも取り組んでいきたいと思っております。引き続きご指導のほど宜しくお願いします。